

アフリカユースプログラム参加高校生へのオリエンテーションの実施

8月13日、当地 Greek Community School にて、アフリカユースプログラム（Japan-Africa Youth Program）に参加する高校生を対象としたオリエンテーションを実施しました。オリエンテーションでは、当館職員より日本文化・日アフリカ関係に関する説明を行い、参加した高校生から日本文化やマナーに関する質問を受けました。

アフリカユースプログラムは、外務省の支援のもと、日本とアフリカの次世代を担う青年の相互理解を促進するための取組として、我が国の支援により、アフリカ連合委員会（AUC）と連携して実施する国際交流事業です。我が国は、昨年8月に開催された第9回アフリカ開発会議（TICAD9）において、若者・女性に焦点を当てた人材育成・人材交流について取組を加速させることを表明しており、本事業は同表明を具体化するものです。

当地からは、Greek Community School に在学中の15歳～18歳の高校生23名が、8月24日から9月2日までの間日本を訪問し、奈良県の高校訪問、日本企業訪問及びホームステイなどを行います。



当館職員による説明の様子



参加した高校生との集合写真



質問セッションの様子



参加した高校生の様子